



# ふれあい

令和元年度6月号 No.3  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## タブレット活用とプログラミング教育の研究を開始しました!



門川町教育研究所では、本年度の研究員（7名）が研究活動を開始しました。昨年度まで ICT を効果的に活用する研究を中心に行って来ましたが、次年度から始まる新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力の一つとして位置付けられた「情報活用能力」の育成をねらいとして、町内小・中学校に導入されるタブレット PC の活用法及びプログラミング教育の指導法（プログラミング的思考の育成）について研究を進めていくことになりました。

## 第3回研究員会では「プログラミング研修」を行いました!



講師は町教委の日高指導主事が務めました。

小学校でプログラミング教育を開始するにあたっては、教育委員会と学校がやっておくべきことは何か!? と考えたとき、教育委員会は教育環境の整備（デバイスの整備）、学校ではほとんどの教員が経験したことのないプログラミング体験を通して、どのようなものをイメージできるようにし、指導計画のどこでプログラミングを活用するかを洗い出すことが大切であると思います。また、プログラミング指導のリーダー教員を養成しておくことも必要でしょう。

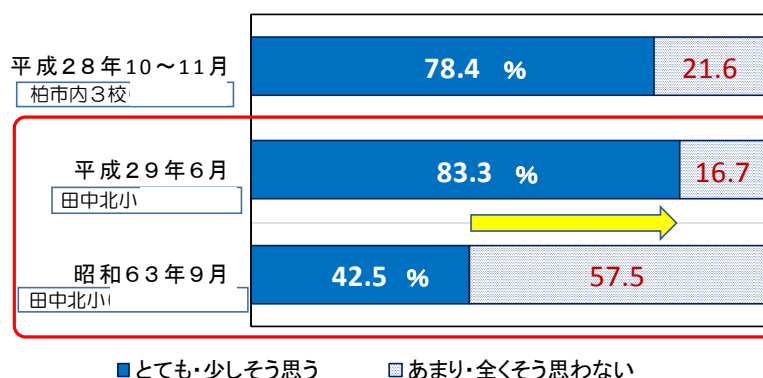
そこで、研究所では研究員が組織的にプログラミング体験を実施し各学校の普及リーダーとなれるよう、リテラシー育成に取り組もうと考えています。（左写真は研究員がプログラミング体験中のものです）

## プログラミング教育と学力の関係 ～～（柏市教育委員会の取組結果から引用）

2020 年度から始まる新学習指導要領に位置付けられたプログラミング教育の実施に向けて様々な情報が飛び交っています。町教育研究所でも、実施に際しての課題を洗い出し、研究実践を重ねて町内各学校の先生方に情報提供していくことにしています。以下は、先進的な取組を行っている千葉県柏市教育委員会のデータです。

《引用・参考文献：RimseNo.21（財）理数教育研究所》

### プログラミングの勉強をすると頭がよくなるか



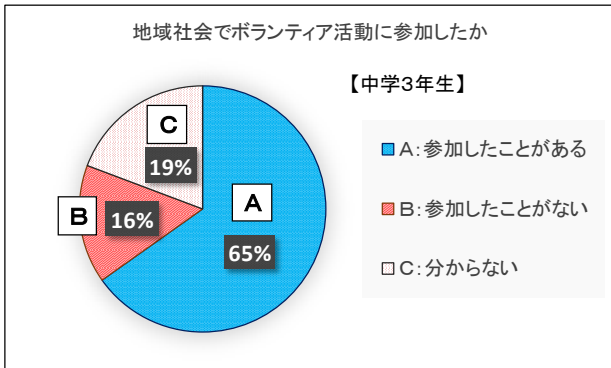
柏市では 30 年ほど前からプログラミング教育を行っており、昭和 63 年に田中北小学校で実施した左記のアンケート質問に当時の子供たちは 42.5%が「そう思う」と回答していましたが、平成 29 年度同じ学校で同じ質問をすると 83.3%が「そう思う」と答え、ポジティブな回答が倍増していたそうです。これは、一番上のグラフのように柏市全体でも同様の結果だったそうです。

ただし現時点ではプログラミングと学力の関係についてははっきりしたデータを示すことはできませんが、子供たちの学びへ向かう意欲については少なくない影響があると言えます。

「地域社会でボランティア活動に参加したことがある」中学3年生の状況は？



下図は平成30年度の全国学力・学習状況調査における「地域社会でボランティア活動に参加したことがありますか」との問いに対する門川町中学校3年生の「参加したことがある」「参加したことがない」「分からない」の回答状況です。



グラフから町内の3年生徒全体の65%が「参加したことがある」と回答しており、「参加したことがない」の16%を大きく上回っていることがわかります。この調査では、どのようなボランティア活動に参加したのかはわかりませんが、ボランティア活動に対する中学3年生の意識は高い方ではないかと考えられます。参加する割合が今後さらに増加することを期待したいと思います。

本  
の  
一  
節  
心  
に  
残  
っ  
た

「誰もが昔は生徒でした。教室で、グラウンドで、先生がくれた言葉に、いま、ありがとう！」ラジオ番組「ありがとう、先生！」のナレーター純名里沙さんのナレーションです。この番組が伝える、生徒に届けられた先生の言葉をまとめた本の一節を紹介します。

〔出典：TOKYO FM 発行「ありがとう、先生！」より〕



「根気」強くなれるコトバ ～ 努力が実るとは限らない。

でも、成功した人は必ず努力している

～部活でなかなか記録が出ず、スランプに陥っているときに顧問の先生からいただいた言葉です。ただひたむきに努力しようと強く思いました。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育研究所「教育相談室」に気軽に電話をしてください。来室相談も受け付けています。

相談電話（門川町教育相談室）  
Tel・Fax 63-1566

～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）～～

